

拝島分水を歩く

1740年に開削された古い分水です。
今も田用水として使われる、現役の用水です。

3月21日(日)集合 青梅線拝島駅 JR 改札口午前10時
解散 立川バス「田中」バス停 15時ごろ

バスで昭島駅や立川駅に出られます。

もちもの:飲み物/歩きやすい靴と服装で 昼食は途中で店に入ります。

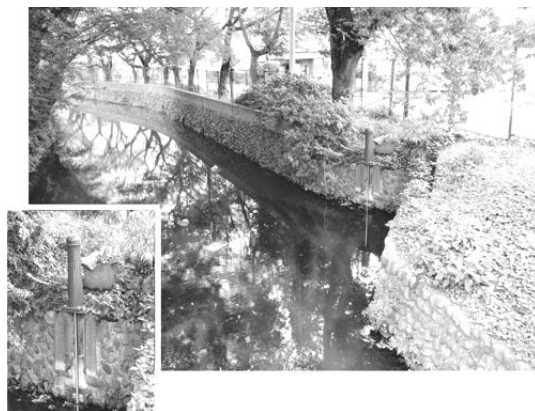
参加費:1000円 (シビル会員は800円)

案内人:福田 恵一さん(中学校社会科教員)

(案内人からの一言) 今年も歴史散歩、始めます。昨今の状況を考え、近場でまだ行っていない玉川上水の分水は?と考えたところ、この拝島分水に行きつきました。拝島分水が現役の分水(田用水・環境保全水)で、その取水口が拝島駅前にあるということ、それはこれまで何度も見てきたのですが、暗渠部分が多く、分水に沿って歩くのはあまり面白みがないのではないかと、これまでコースづくりをなかばあきらめてきました。

が、「近場でまだ見えていない分水」と考えたときに、「やれるかな」とちょっと下見をしてみました。拝島駅のホームの下で、すぐに暗渠になる用水はどこを流れるのか? ところが、その水路上が駅からの抜け道になっていてたどれるのです。しかも現役なので、ところどころ水路から水音も聞こえます。さらに開渠部分が残っているところもあって、これは行けそうです。

玉川上水の拝島分水は、1740(元文 5)年に開削された古い分水で、ハケの湧水と合わせ、今も田用水として利用されています。かつて分水が通る拝島村には水車も設置されていました。今回は、その分水をたどり、日吉神社、大日堂などにもよって、ハケ下で合流する昭和用水まで歩きます。途中で店に入って昼食をとります。



お問い合わせ/お申し込みは
一般社団法人(非営利型)
市民の学習・活動・交流センターシビル
042-524-9014 (担当 こうの)
立川市柴崎町3-10-4
civiltachikawa@yahoo.co.jp
当日の連絡先は 090-8463-3742 こうの

歴史散歩－拝島分水を歩く

(2021.3.21)

氏名

住所

連絡先

(会員・一般)

領収証

様

¥

歴史散歩－拝島分水を歩く
(2021.3.21)参加費として

月 日 扱い